

附近見取図

＝ 特記事項 ＝

【工事概要】

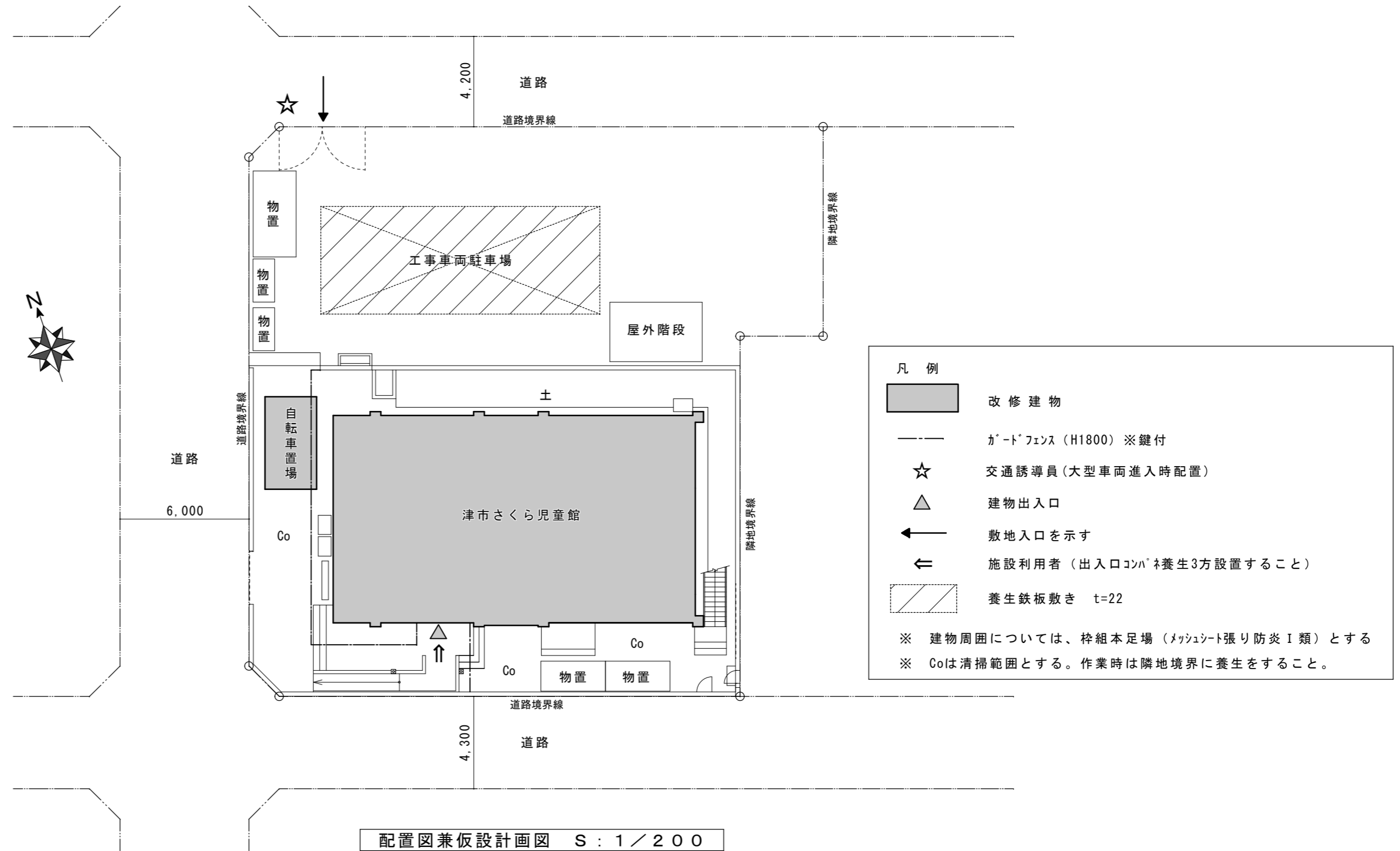
- 工事場所：津市 中河原 地内
- 工事内容：施設名称 津市さくら児童館
- 構造 鉄筋コンクリート造 2階建
- 延面積 320.76㎡
- 工事項目 外壁改修、建具改修、塗装改修、外構改修

【施工条件】

- ・ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
- ・ 作業着手までの施設内調査は、事前に施設管理者及び市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・ 工事車両の出入りについては、施設利用者等の安全確保に十分配慮すること。
- ・ 工事中の安全計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
- ・ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
- ・ 運営しながらの工事となるため、施設利用者の安全に十分配慮すること。塗装作業については、遊戯室を児童が利用するため、換気が出来るよう北西面、南東面それぞれ分けて施工を行うこと。また、既設空調機の撤去時期については、協議の上決定とする。
- ・ ただし、安全確保のため、やむをえない作業については、市監督員及び施設管理者と協議による。
- ・ 工事期間中、現場内入場者、近隣関係者へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
- ・ 大型車両進入時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全確保に配慮すること。
- ・ 工事車両及び工事関係車両は、指定場所に駐車し、周辺道路には駐車しないこと。
- ・ 工事用水、電力については施設内既存の施設を無償で利用できる。ただし、施設運営に影響しないように事前に打ち合わせのうえ計画し、施工すること。
- ・ 工事着手前には、現状状況把握の為に破損箇所があれば、市監督員の立ち会いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程において、既存施設に損害を与えた場合は、請負者の負担において、速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。
- ・ 設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・ 構内に大型車両(クレーン等)を必要とする作業および、利用者に支障をきたす作業は、市監督員と協議の上、支障の無い日時に行うこと。
- ・ 高所等の施工箇所にて完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。
- ・ 外部鉄鋼面塗替えにおいて、下地調整ケレン時に、集じん機付きディスクグラインダーの使用又は湿潤化し飛散養生するなど、粉塵の飛散防止に努めること。

【適応基準】

- ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
- ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
- ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築設備工事標準仕様書（電気、機械設備工事編）平成31年版」
- ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「建築、電気、機械設備工事監理指針 令和元年版」
- ・ 独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」



配置図兼仮設計画図 S : 1 / 200

【外部足場】

- ・ 設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
- ・ 張り出し足場とした場合、施設利用者は敷地内を通行するため、物体の落下防止措置を行うこと。

- 内外部足場の種別（参考）
- 脚立
  - 棚足場
  - その他（ ）
  - 手摺先行据置枠組本足場
  - 移動足場
  - 高所作業車
  - その他（ ）
- 外部足場設置範囲（参考）
- 外部改修部
  - 設備改修部
  - 昇降用
  - 転落防止用防護シート等による養生
  - 適用する
  - 適用しない

【解体撤去処分】

- ・ 本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・ 工事完了後、マニフェスト（A、B2、D票）を市監督員に提示すること。また、近隣に対し騒音・振動・粉塵等を配慮した施工を行うこと。

建設副産物情報交換システムの利用

受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手前及び、工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

【仮設便所】

- 構内既存の施設
- ・ 利用できる ○ 利用できない

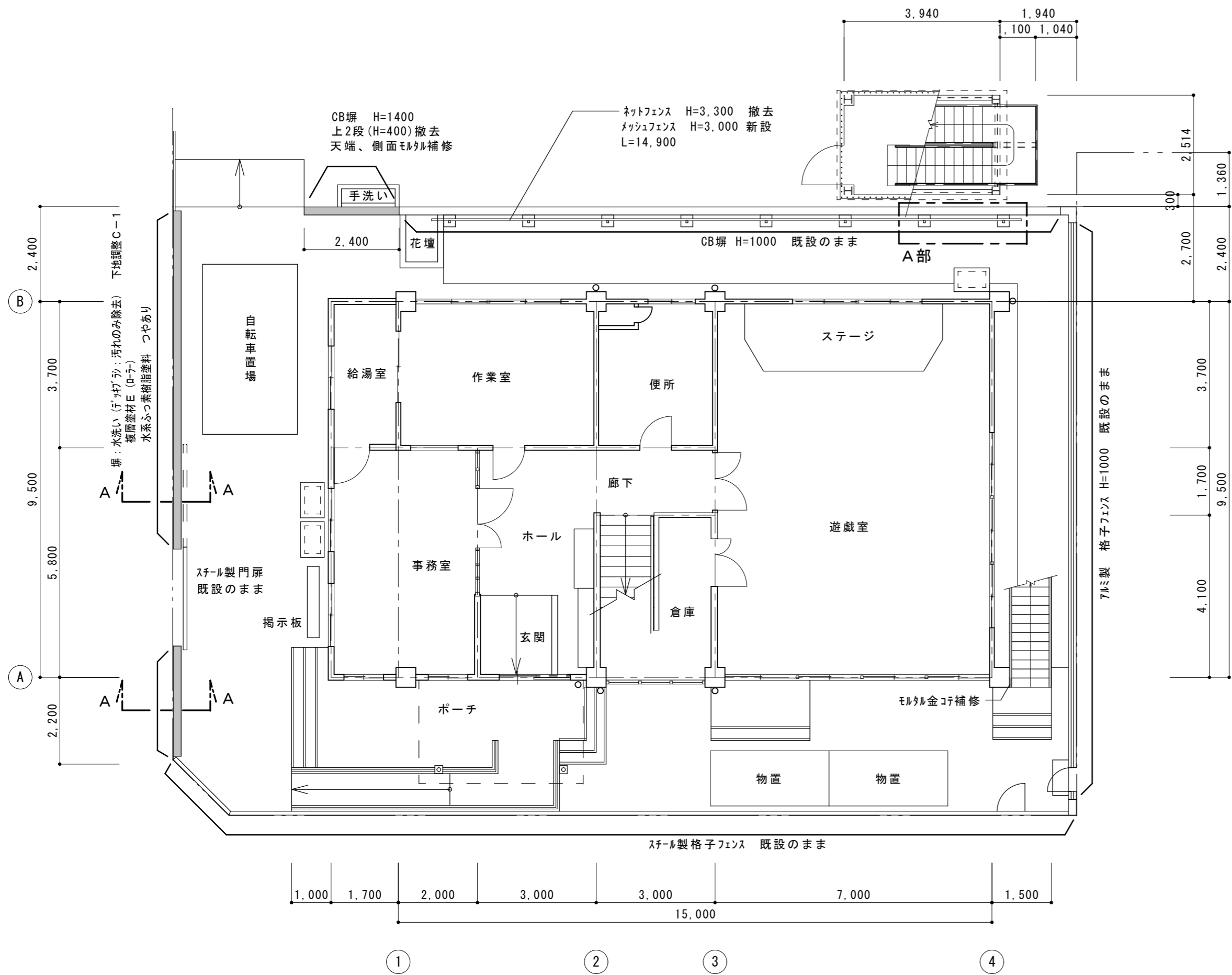
【工事用水】

- 構内既存の施設
- 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない

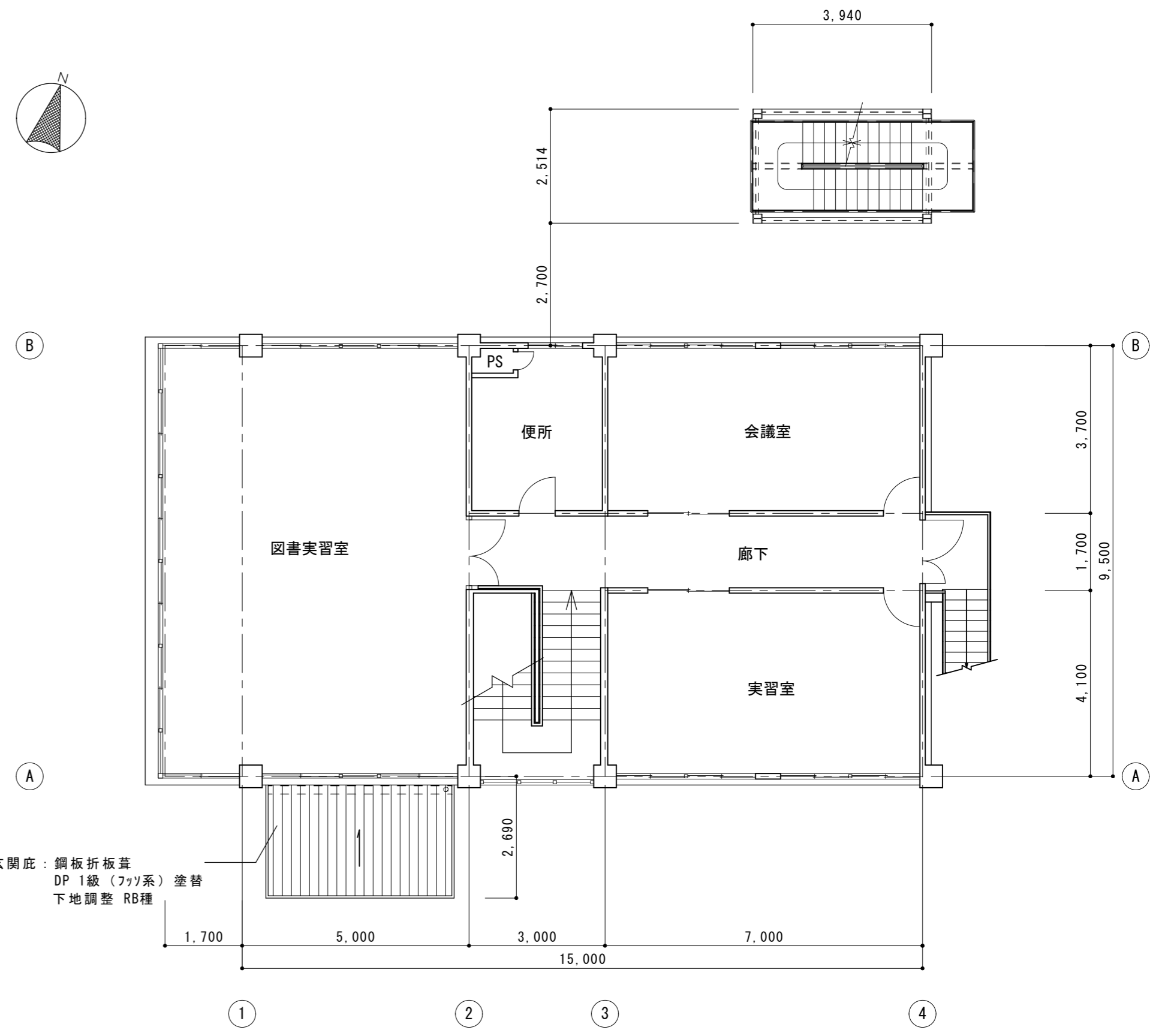
【工事用電力】

- 構内既存の施設
- 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない

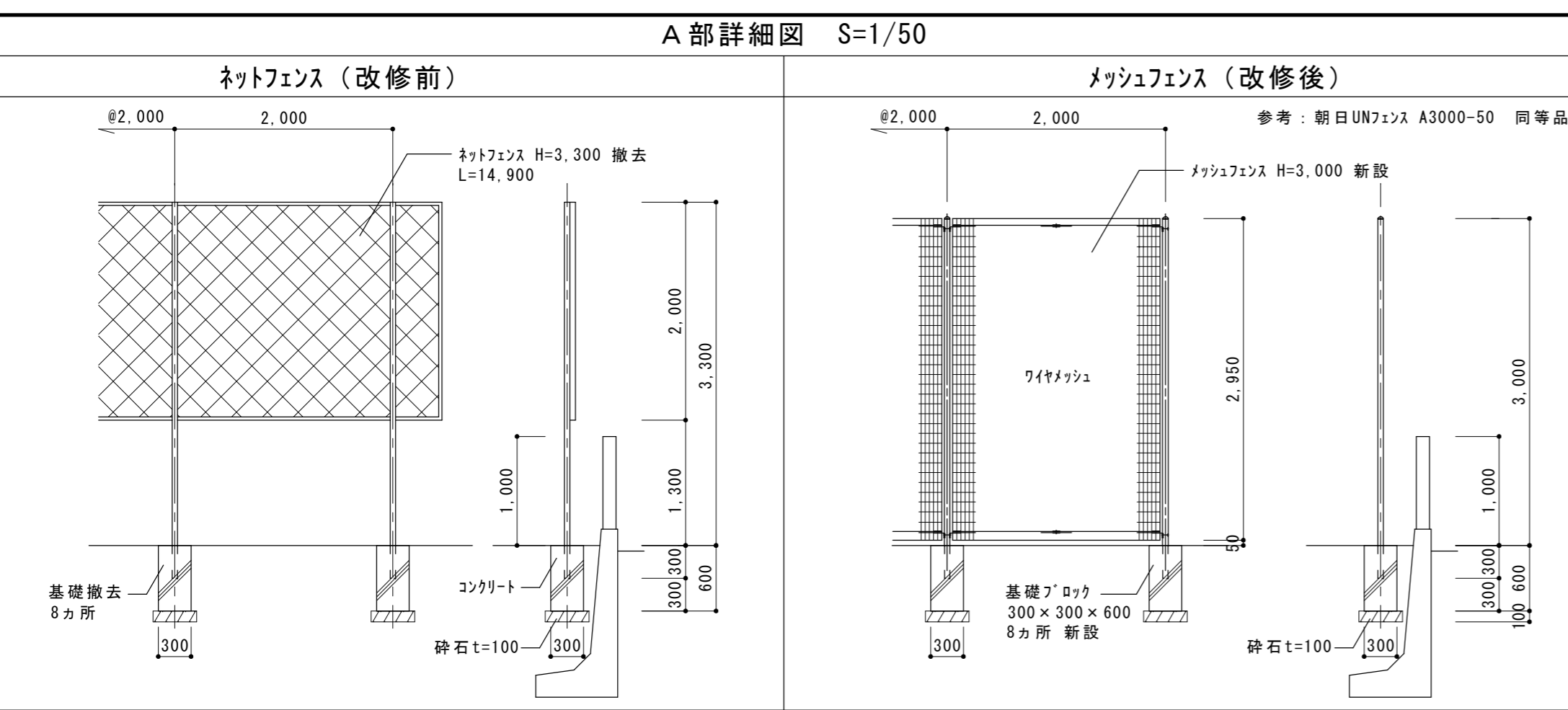
津市さくら児童館外壁その他改修工事		縮尺	1/200
図面名称	附近見取図・配置図兼仮設計画図	原図	A 2
津市建設部営繕課		No.	A-01



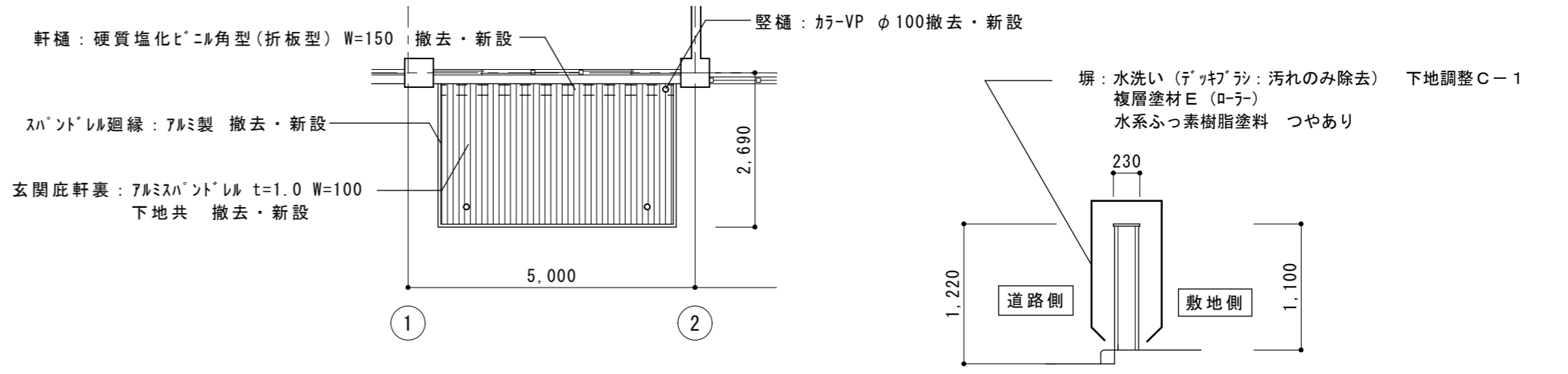
1階平面図兼外構図 S=1/100



2階平面図 S=1/100



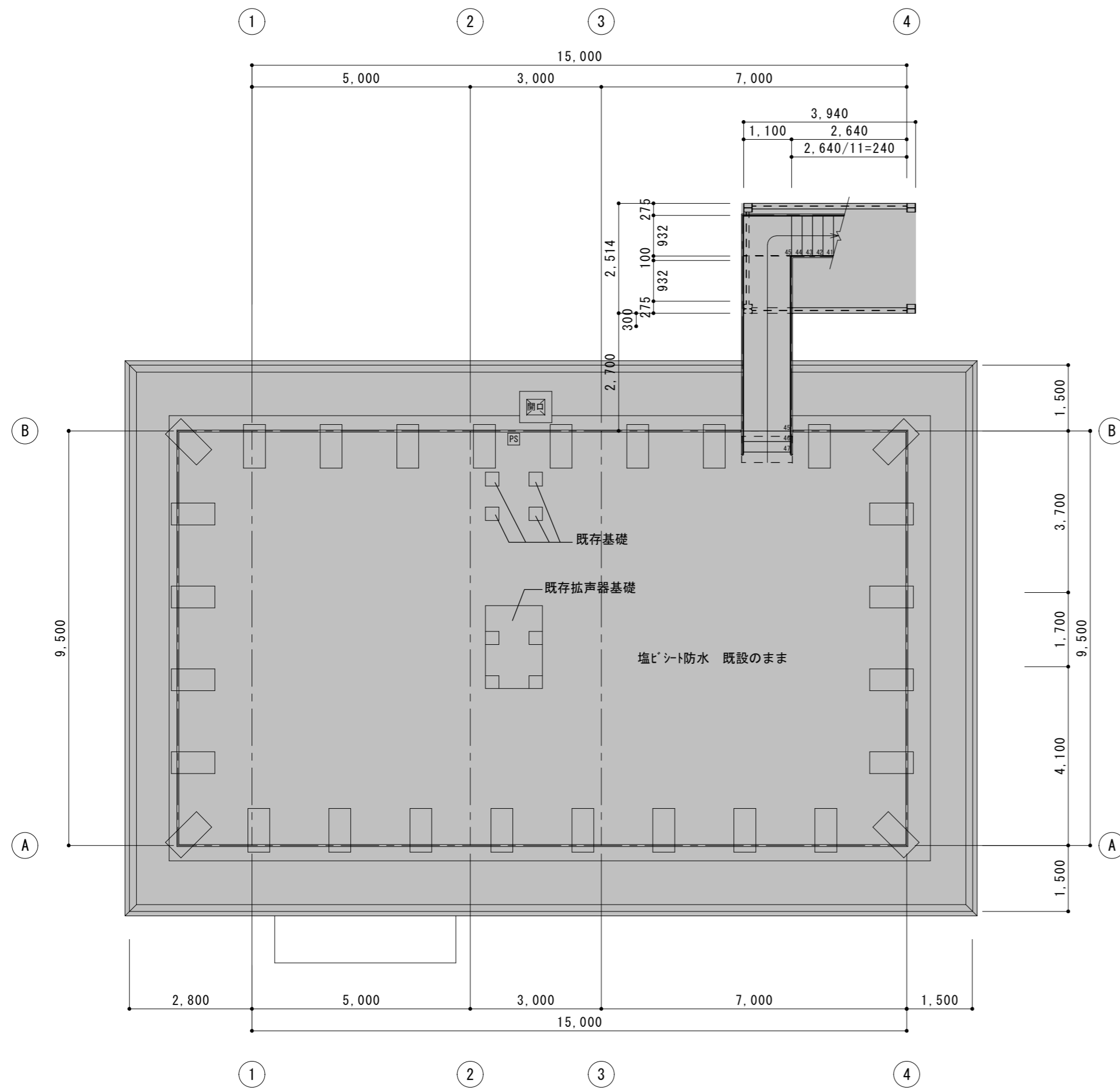
A部詳細図 S=1/50



天井伏図 (玄関庇) S=1/100

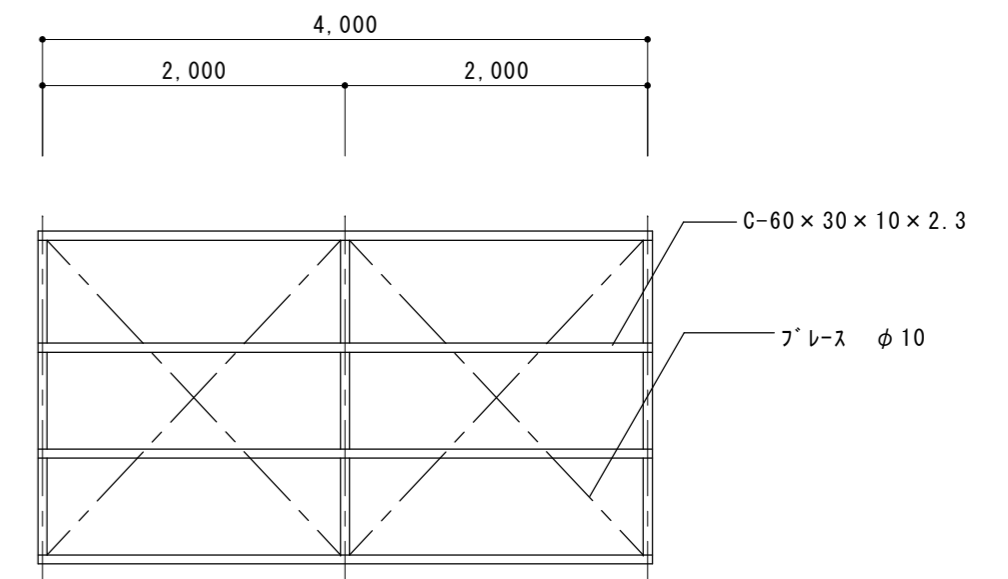
A-A断面図 S=1/50

津市さくら児童館外壁その他改修工事		縮尺 1/100、1/50
図面名称	1階平面図・2階平面図・天井伏図・詳細図	原図: A2
津市建設部営繕課		No. A-02

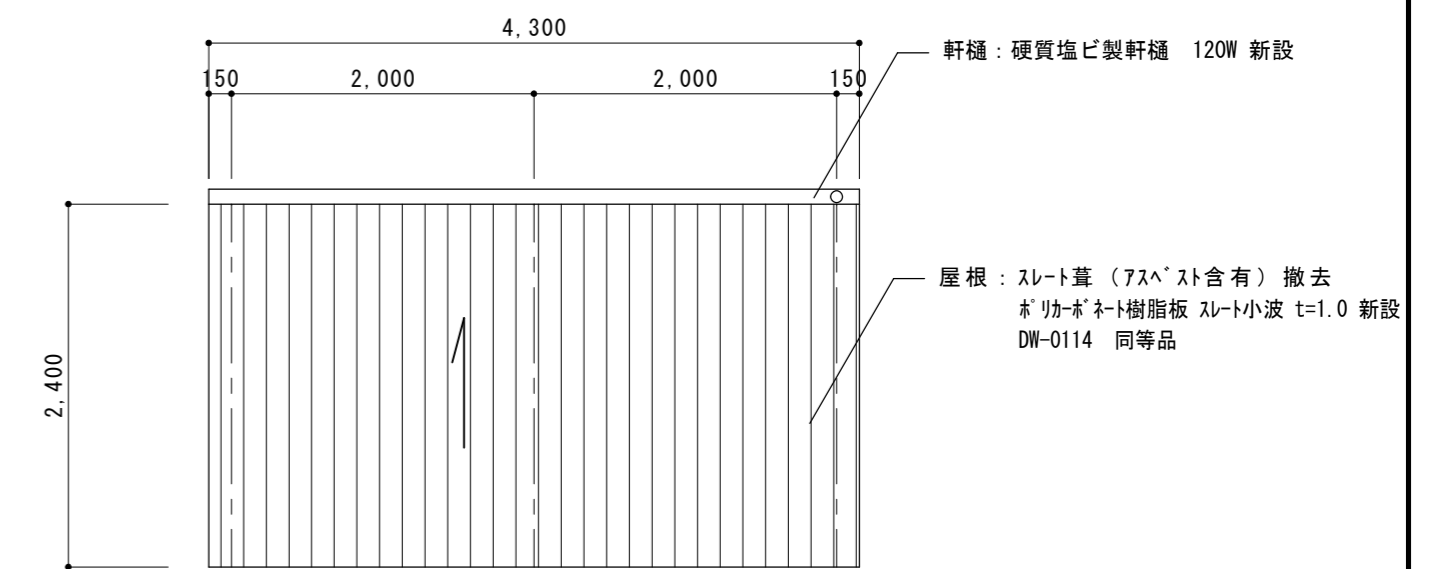


屋上階平面図 S=1/100

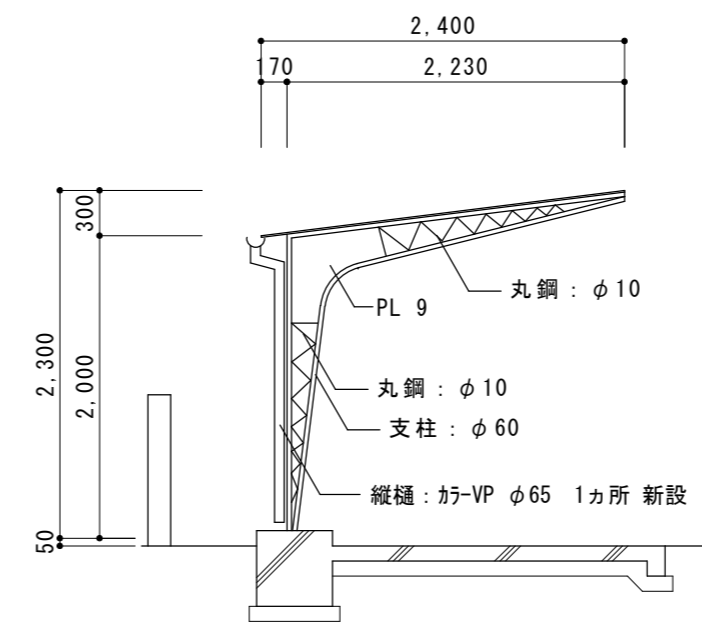
■ 工事範囲外を示す。



梁伏図 S=1/50



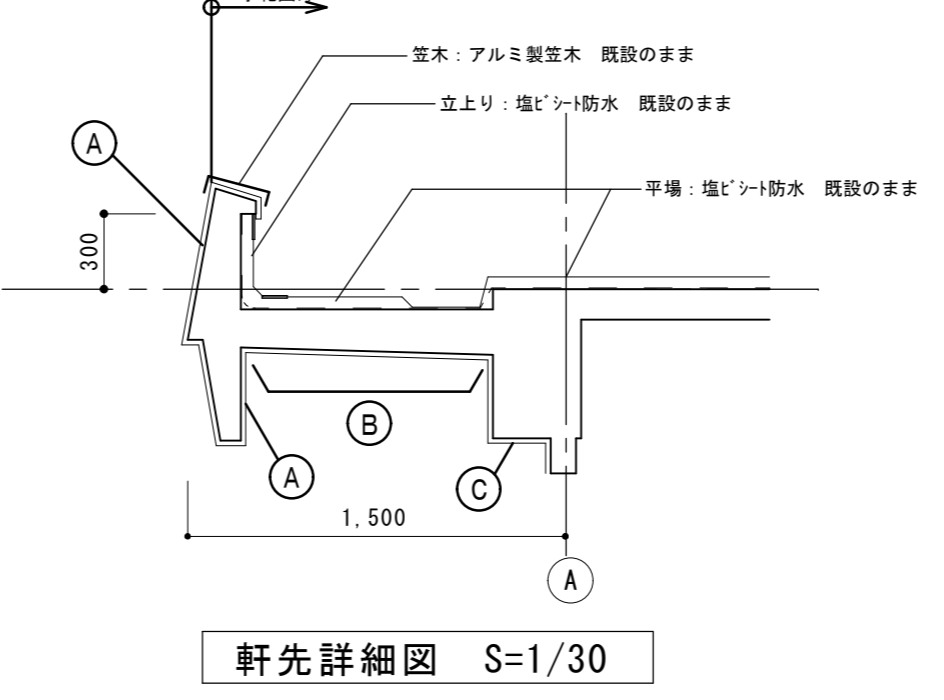
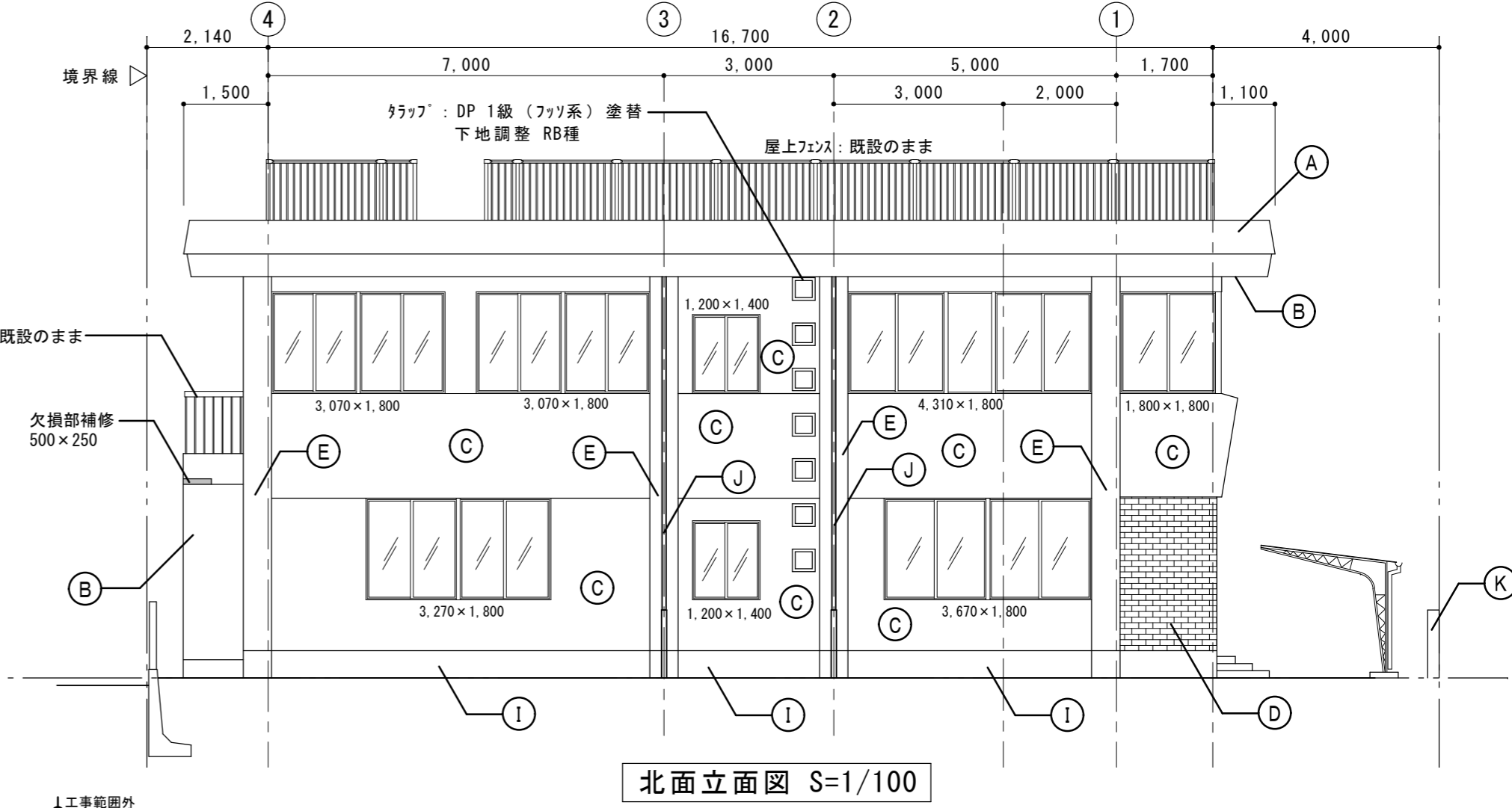
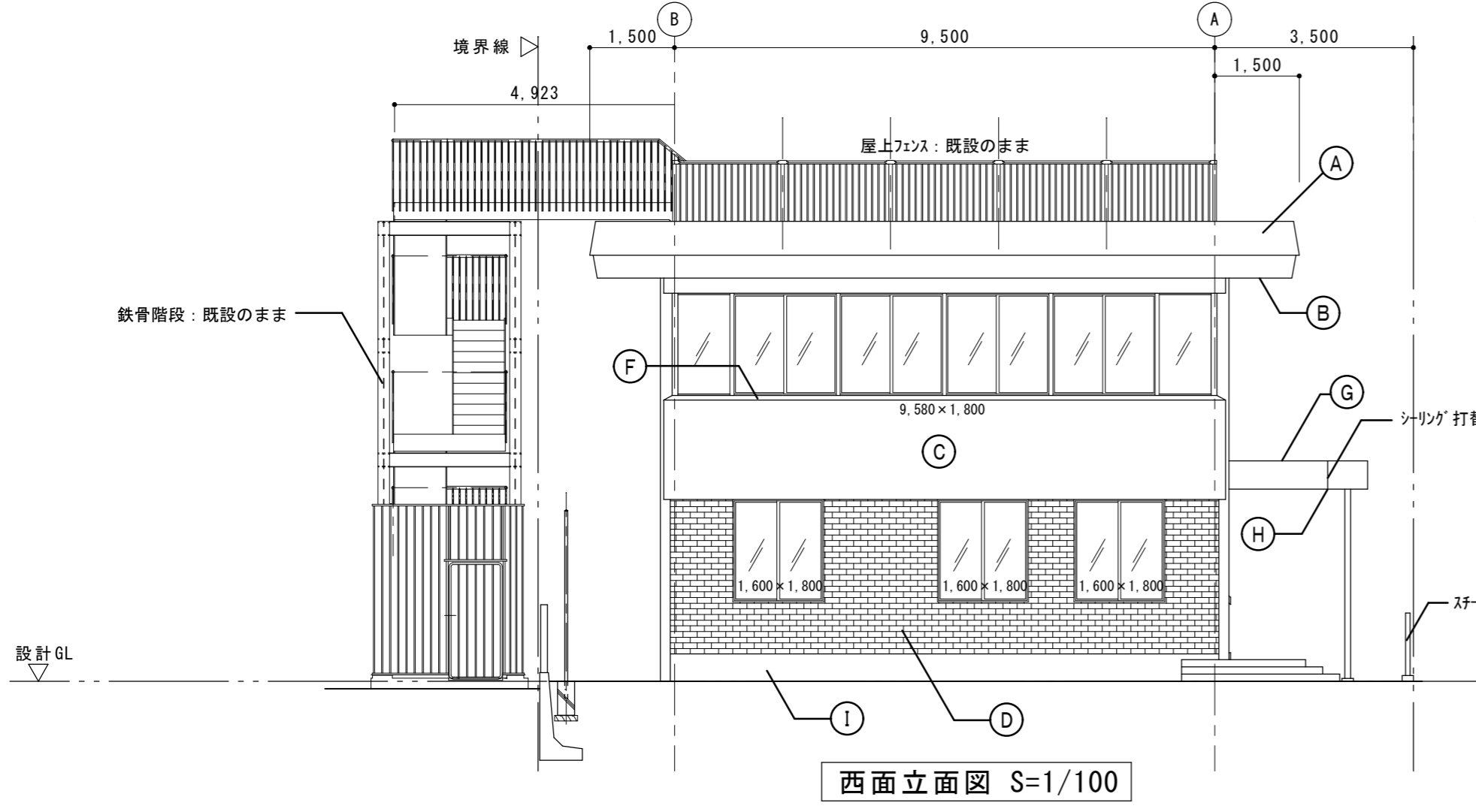
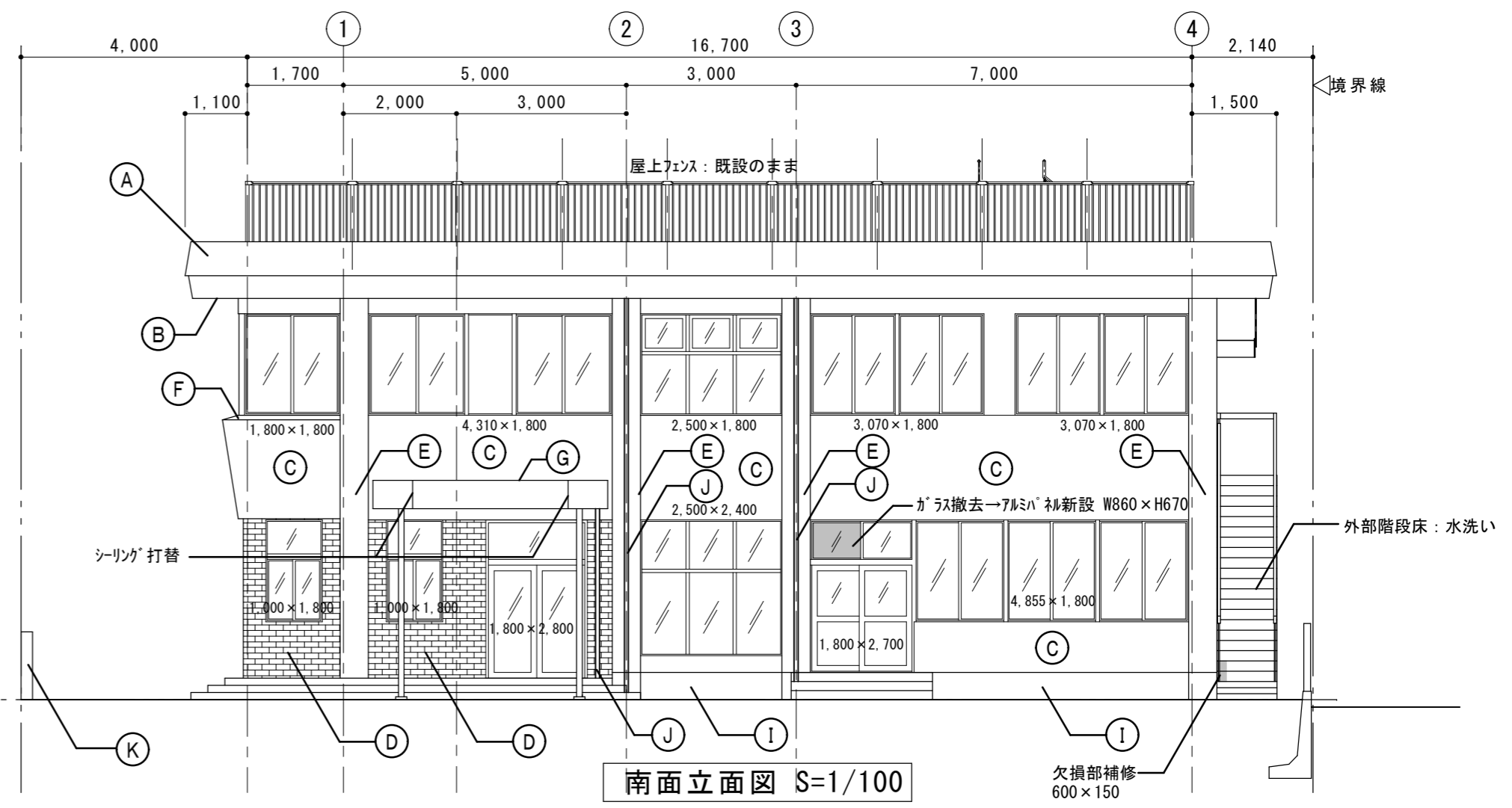
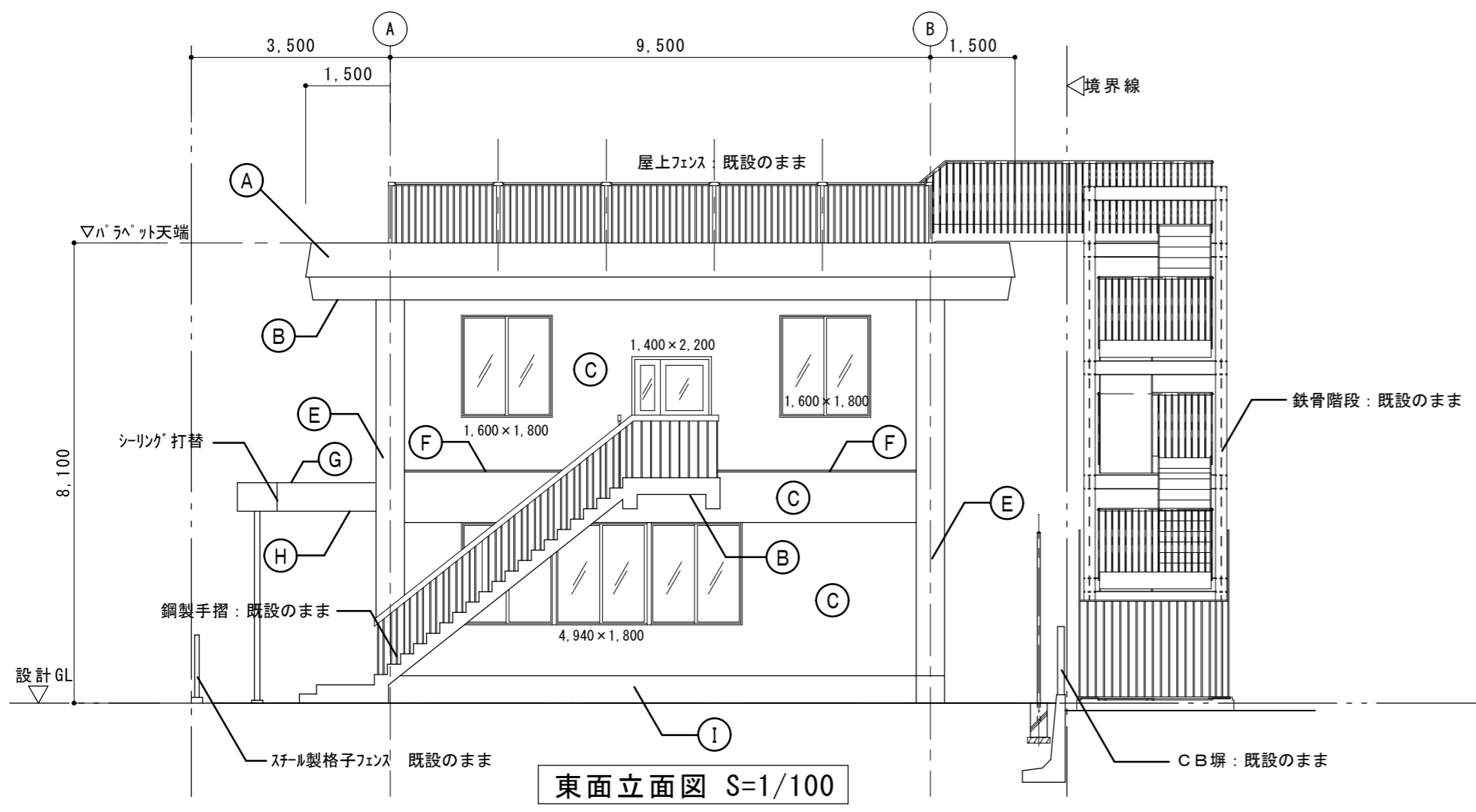
立面図 S=1/50



断面図 S=1/50

見えがかりの鉄部は下地調整RB種の上、DP 1級（フッ素系）塗替とする。

津市さくら児童館外壁その他改修工事		縮尺 1/100、1/50
図面名称	屋上階平面図・駐輪場詳細図	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. A-03



◆外壁改修工事仕様

<施工数量調査>

- 調査項目 クラック、剥がれ及び剥落部、浮き部 (タイル含む)
- 調査方法 打診、目視及びラックスケール等
- 報告書 2部 (補修方法別に調査数量を集計すること)

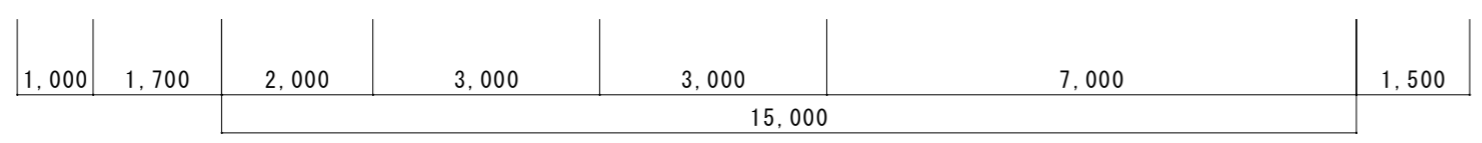
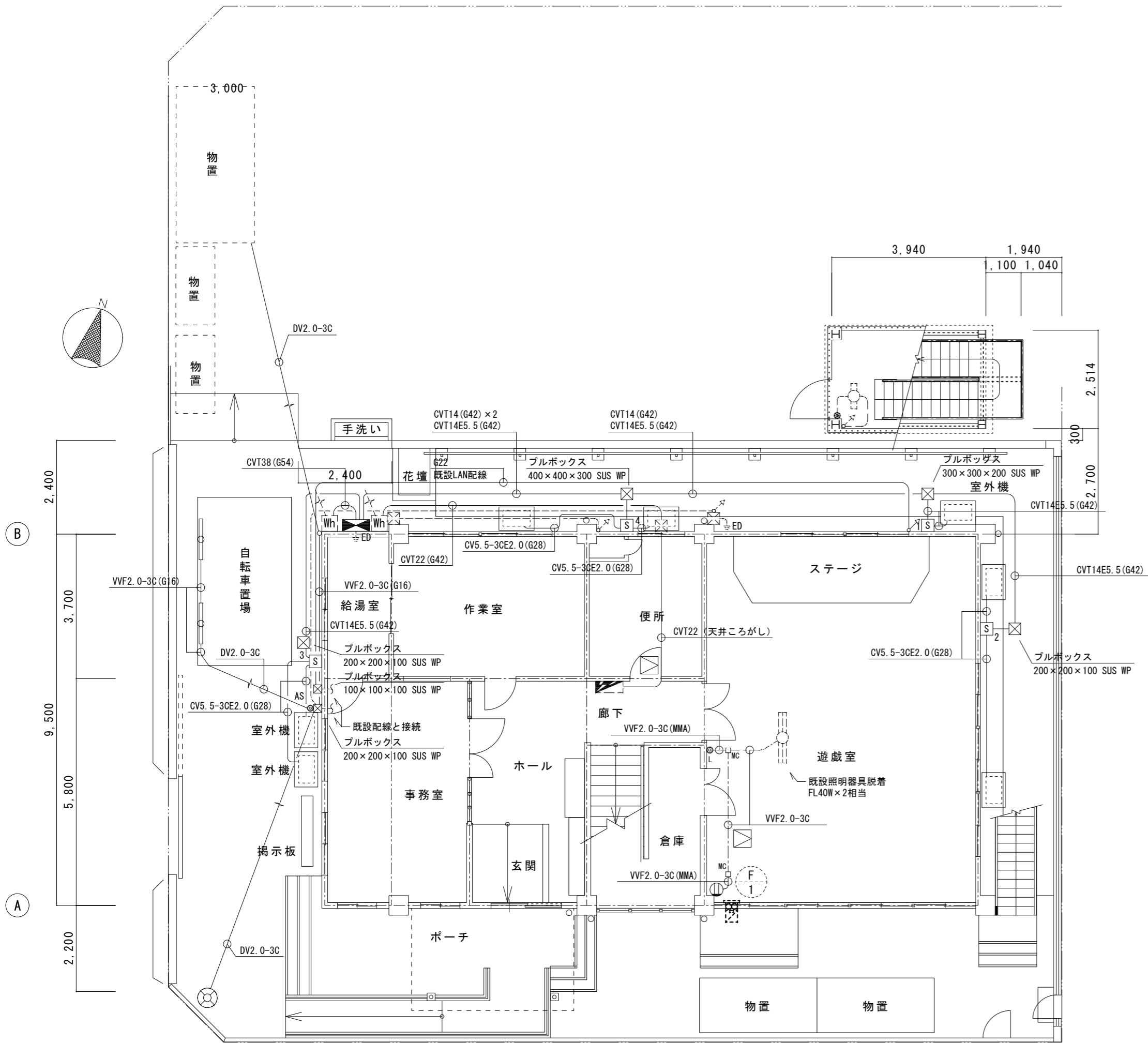
<外壁クラック補修仕様>

- ひび割れ補修 (1mm以上) Uカットシール材充填工法 PU-2 (シーリング材) の上にホリヤセメント充填を行う
- ひび割れ補修 (0.2~1mm未満) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
- 欠損部補修 エポキシ樹脂モルタル充填工法 (防錆処理共)
- 浮き部補修 一般部 (タイル面含む): フカビニリング 部分エポキシ樹脂注入工法 (16本/m<sup>2</sup> 25ml/穴)

※ひび割れ補修等は、施工数量調査を行い、市監督員による確認後施工すること。

外壁改修工事仕様			外壁改修工事仕様		
部位	記号	仕上	部位	記号	仕上
パラペット	改修前	アクリルリシン吹付仕上	庇屋根	改修前	鋼板折板葺
	改修後	高圧水洗浄 下地調整C-1 外装薄塗材E		改修後	下地調整 (RB) DP 1級 (フッ素系) 塗替
軒裏	改修前	アクリルリシン吹付仕上	庇軒裏	改修前	アルミスバンドレール LGS下地、軒樋共 撤去
	改修後	高圧水洗浄 下地調整C-1 外装薄塗材E		改修後	アルミスバンドレールT・O W=100 電線着色、LGS下地 阻縁 新設 軒樋: 塩ビ製 折板型 W=150 SUS製受金物共 新設
外壁	改修前	アクリルリシン吹付仕上	巾木	改修前	モルタル塗 金コテ仕上
	改修後	高圧水洗浄 下地調整C-1 複層塗材E (ローラー) 水系ふっ素樹脂塗料 つやあり		改修後	水洗い
外壁 (タイル)	改修前	二丁掛けタイル	壁樋	改修前	硬質塩化ビニル管 (カラー) φ100 撤去
	改修後	水洗い		改修後	鋼製保護管: φ114.3 L=1200 OP塗 既設のまま 硬質塩化ビニル管 (カラー) φ100 支持金物、ステンレス製φ900内外 新設 鋼製保護管: φ114.3 L=1200 DP塗
柱型	改修前	アクリルリシン吹付仕上	門扉	改修前	吹付タイル ゆず肌状仕上
	改修後	高圧水洗浄 下地調整C-1 複層塗材E (ローラー) 水系ふっ素樹脂塗料 つやあり		改修後	水洗い 下地調整C-1 複層塗材E (ローラー) 水系ふっ素樹脂塗料 つやあり (両面)
笠木	改修前	モルタル塗 金コテ仕上	※特記無き限り、下記とする。		
	改修後	下地調整C-1 複層塗材E (ローラー) 水系ふっ素樹脂塗料 つやあり	1. 既設のままとする。 2. 建具周りは、シーリング (MS-2 20×10) 打ち替えとする。 3. 壁面に取り付け設備配管はDP塗とする。 4. 高圧水洗浄は高圧ポンプ (30~50MPa) とする。 5. 水洗いはデッキブラシ (汚れ除去) とする。		



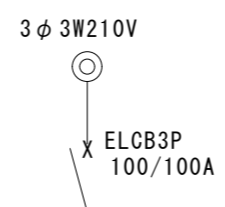


1階平面図 (改修後) S=1/100

注記  
 ※点線は既設を示す。  
 ※盤・機器等の接続は金属製可とう電線管 ビニル被覆 防水型を使用する。

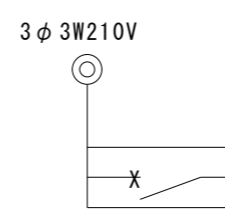
分電盤結線図

動力盤 (屋外壁掛型 SUSWP)



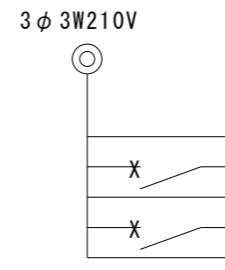
X	手元開閉器函 1	MCCB3P50/30A	
X	手元開閉器函 2	MCCB3P50/30A	
X	手元開閉器函 3	MCCB3P50/30A	
X	手元開閉器函 4	MCCB3P50/30A	

手元開閉器函 1 (屋外壁掛型 SUSWP)



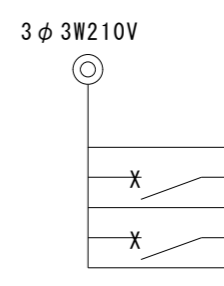
X	遊戯室	ELCB3P50/30A	
---	-----	--------------	--

手元開閉器函 2 (屋外壁掛型 SUSWP)



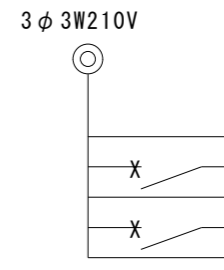
X	会議室	ELCB3P50/20A	
X	実習室	ELCB3P50/20A	

手元開閉器函 3 (屋外壁掛型 SUSWP)



X	事務所	ELCB3P50/20A	
X	図書実習室 (南)	ELCB3P50/20A	

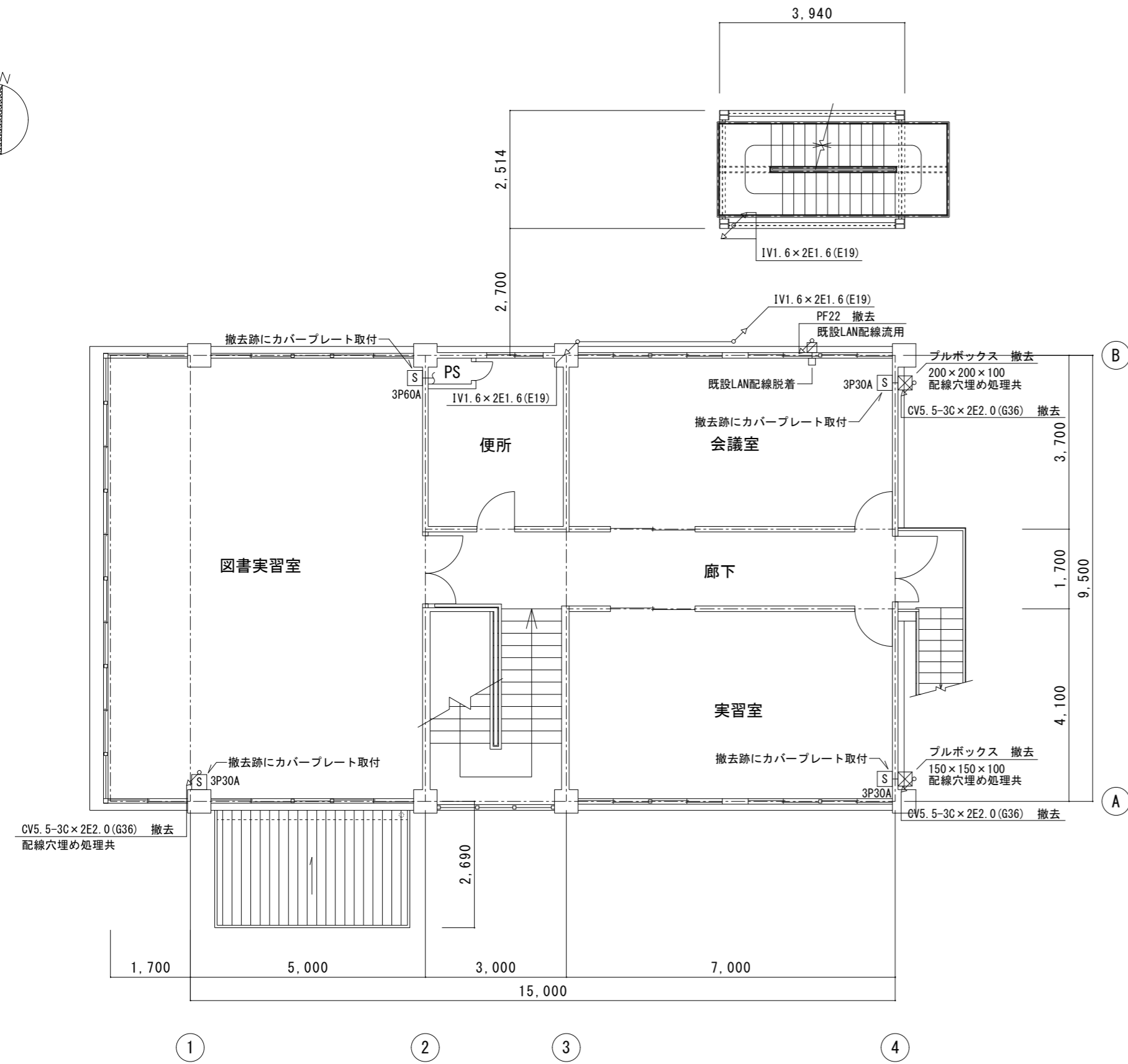
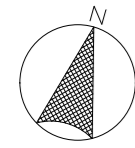
手元開閉器函 4 (屋外壁掛型 SUSWP)



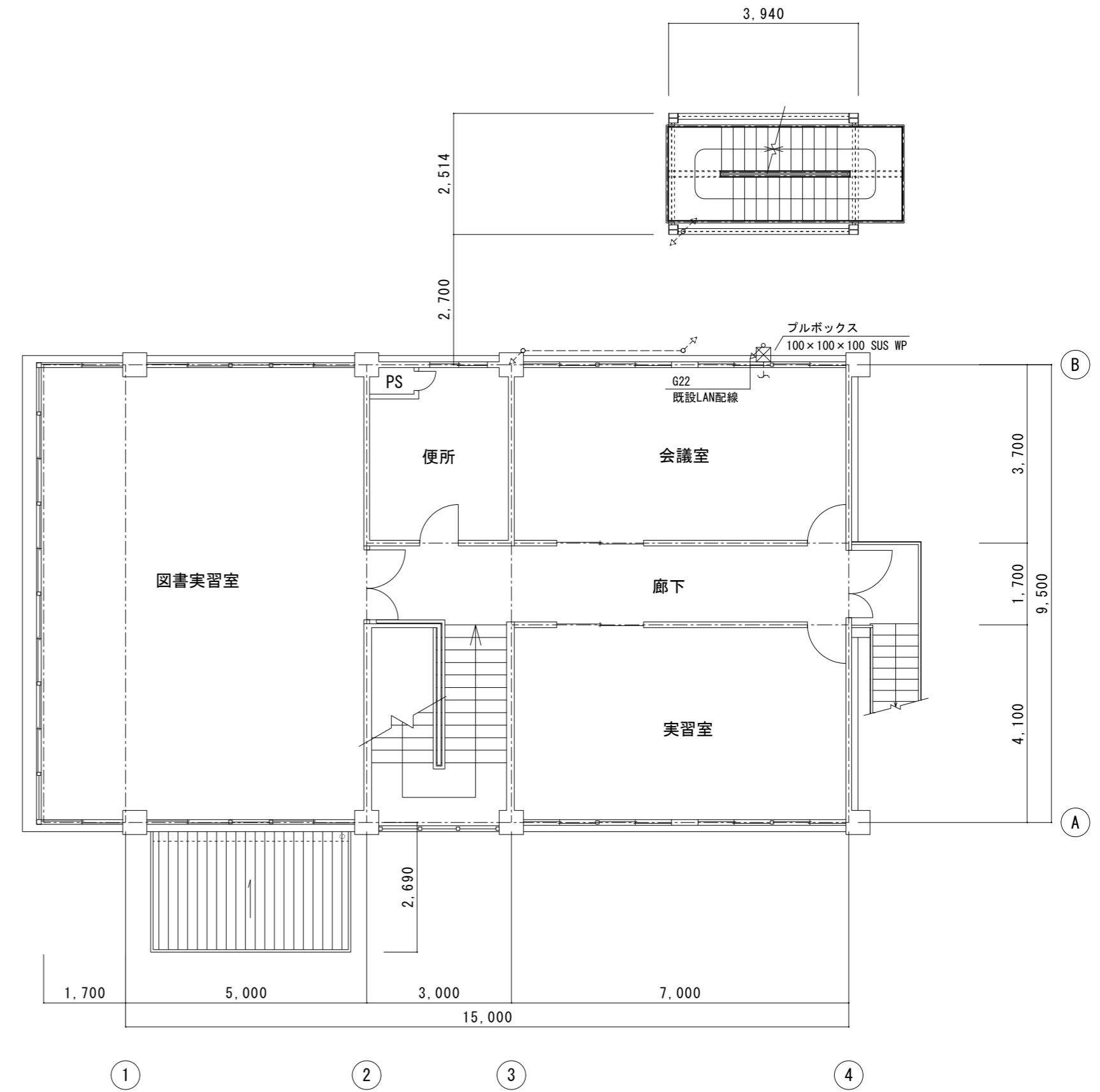
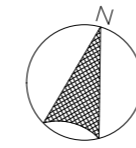
X	作業室	ELCB3P50/20A	
X	図書実習室 (北)	ELCB3P50/20A	

凡例

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	既設
■	動力分電盤	
Wh	電力量計	既設
S	手元開閉器函	
☒	プルボックス	
AS	自動点滅器	
⊕	外灯	既設
○	LED照明器具	参考品番: NNF521810CLE9
●	スイッチ (新金属プレート共)	換気扇用
⊙	コンセント (新金属プレート共)	2P15A×1
⊠	天井点検口	□450



2階平面図 (改修前) S=1/100



2階平面図 (改修後) S=1/100

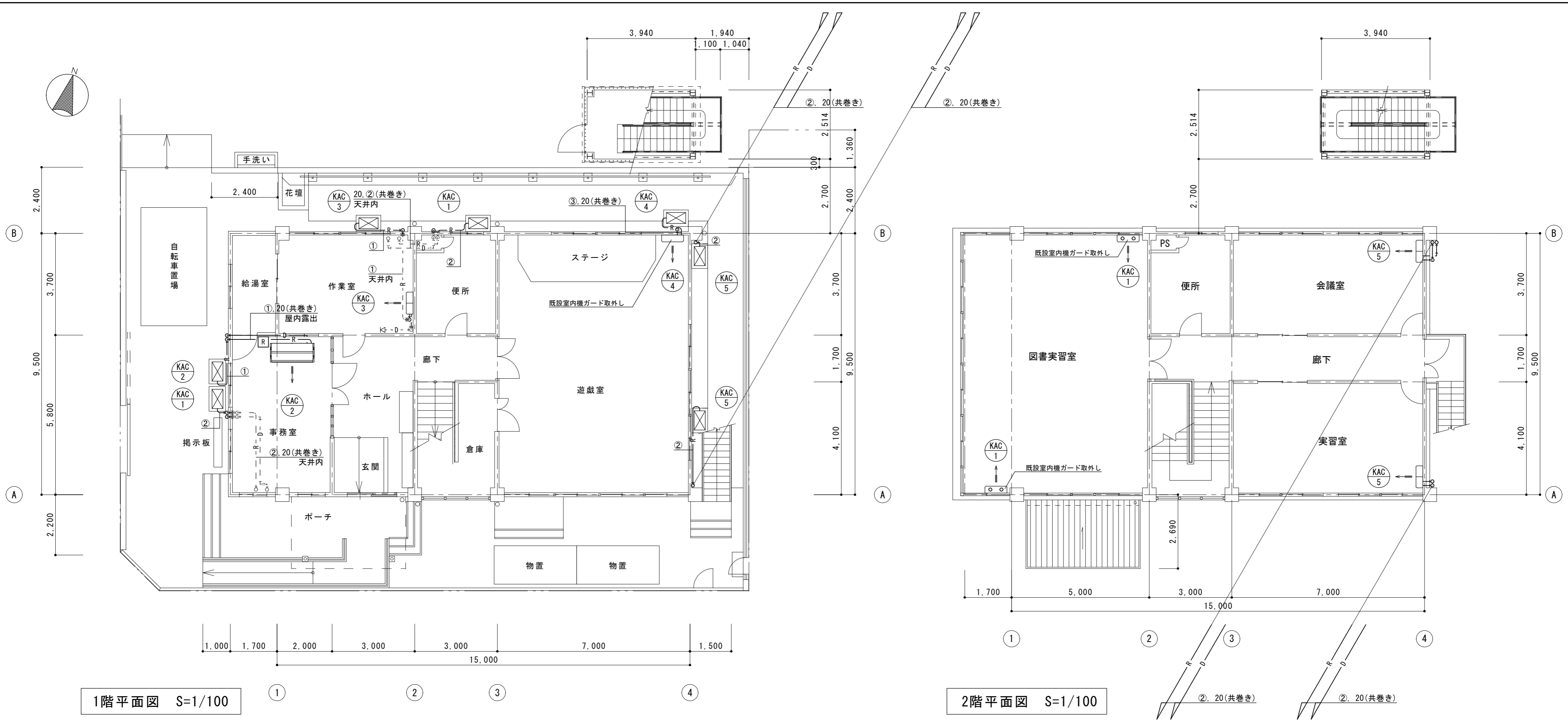
凡例

記号	名称	備考
S	配電図	撤去
X	ブルボックス	撤去
□	位置ボックス	撤去

注記

※点線は既設を示す。

津市さくら児童館外壁その他改修工事		縮尺 1/100
図面名称	電気設備 2階平面図 (改修前・改修後)	原図: A 2
津市建設部営繕課		No. E-03



1階平面図 S=1/100

2階平面図 S=1/100

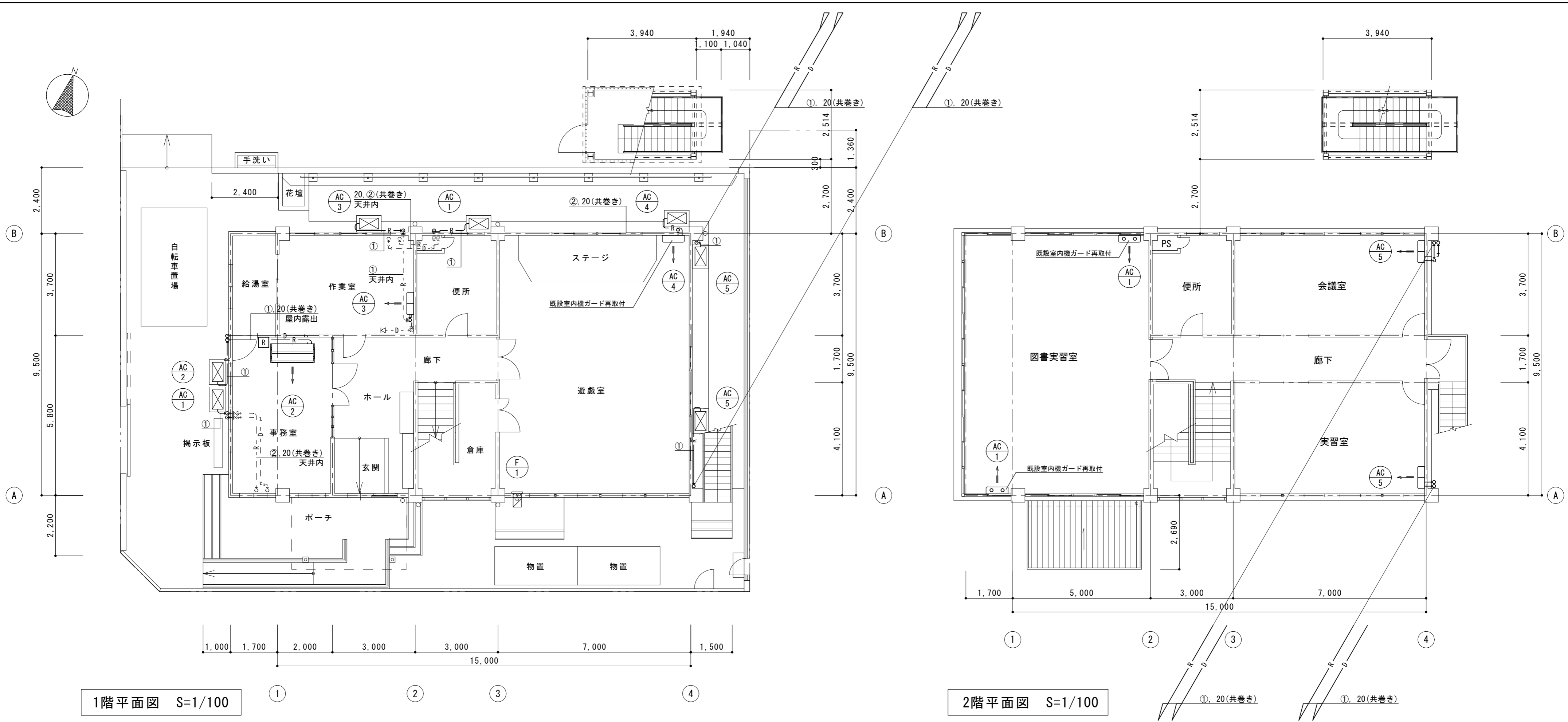
空調機器表 (撤去) 空冷ヒートポンプ式				
記号	形式・名称	仕様	台数	
KAC-1	パッケージエアコン	冷房能力: 5.6kW 暖房能力: 6.3kW 3φ200V	2	
	床置形	基礎: 現場打ち基礎 (参考品番) 室外機: PUH-J63GA9、室内機: PSA-J63GA2 (三菱電機) ※既設室内機ガードは取外しとする		
KAC-2	パッケージエアコン	冷房能力: 5.6kW 暖房能力: 6.3kW 3φ200V	1	
	天井形	ワイヤードリモコン 基礎: 現場打ち基礎 (参考品番) 室外機: ROA-J635H、室内機: A1C-J635HG (東芝)		
KAC-3	パッケージエアコン	冷房能力: 4.0kW 暖房能力: 4.5kW 3φ200V	1	
	壁掛形	ワイヤレスリモコン 基礎: 現場打ち基礎 (参考品番) 室外機: RTYJ45BT、室内機: FAYNJ45L (ダイキン)		
KAC-4	パッケージエアコン	冷房能力: 10.0kW 暖房能力: 11.2kW 3φ200V	1	
	床置形	基礎: 現場打ち基礎 (参考品番) 室外機: PUH-J112GA9、室内機: PSA-J112GA9 (三菱電機) ※既設室内機ガードは取外しとする		

空調機器表 (撤去) 空冷ヒートポンプ式				
記号	形式・名称	仕様	台数	
KAC-5	パッケージエアコン	冷房能力: 5.0kW 暖房能力: 5.6kW 3φ200V	2	
	壁掛形	ワイヤレスリモコン 基礎: 現場打ち基礎 (参考品番) 室外機: PUH-J56GA9、室内機: PKA-J56GA9 (三菱電機)		

凡例		
図示記号	名称	備考
—	撤去配管	
—	現状維持配管	
—	現状配管	
—	撤去配管接続部分	
R	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管: 10mm (ただし、φ10未満は8mm) ガス管: 20mm 保温仕様 屋外露出: グラスウール保温筒+カラー亜鉛鉄板仕上げ (図書実習室 (西側)、会議室、実習室) 屋外露出: 合成樹脂カバー (事務室、図書実習室 (北側)) 屋内露出: 合成樹脂カバー
D	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 天井内: グラスウール+アルミガラスクロス化粧保温筒
R	ワイヤードリモコン	

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
①	φ6.35	φ12.7
②	φ9.52	φ15.88
③	φ9.52	φ19.05





1階平面図 S=1/100

2階平面図 S=1/100

記号	形式・名称	仕様	台数
AC-1	パッケージエアコン	冷房能力：5.6kW 暖房能力：6.3kW 3φ200V	2
	床置形	他付属品一式 基礎：既設現場打ち基礎 ※既設室内機ガードは再取付とする	
AC-2	パッケージエアコン	冷房能力：5.6kW 暖房能力：6.3kW 3φ200V	1
	天井形	ワイヤードリモコン、他付属品一式 基礎：既設現場打ち基礎	
AC-3	パッケージエアコン	冷房能力：4.0kW 暖房能力：4.5kW 3φ200V	1
	壁掛形	ワイヤレスリモコン、他付属品一式 基礎：既設現場打ち基礎	
AC-4	パッケージエアコン	冷房能力：10.0kW 暖房能力：11.2kW 3φ200V	1
	床置形	他付属品一式 基礎：既設現場打ち基礎 ※既設室内機ガードは再取付とする	

記号	形式・名称	仕様	台数
AC-5	パッケージエアコン	冷房能力：5.0kW 暖房能力：5.6kW 3φ200V	2
	壁掛形	ワイヤレスリモコン、他付属品一式 基礎：既設現場打ち基礎	

**特記事項**  
 運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。アンカーはケミカルアンカー仕様。  
 空調機トップランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。  
 機器は同等品以上とする。また、グリーン購入法基準を適用するものとする。  
 室外機は防振ゴムシート (t=10以上) を敷くこと。  
 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。  
 室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。  
 室外機一室外機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。

記号	形式・名称	仕様	台数
F-1	壁付換気扇	窓取付格子形：引きひもなし 電気シャッター式 風量：540 m3/h 羽根径：20cm AC100V 付属品：SUS製ウェザーカバー、防鳥網付、据付部材、その他付属品一式 参考品番：EX-20SC4-S	1

図示記号	名称	備考
—	新設配管	
—	現状維持配管	
—	現状配管	
—	新設配管接続部分	
R	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管：10mm (ただし、φ10未満は8mm) ガス管：20mm 保温仕様 屋外露出：ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ 屋内露出：グラスウール保温筒+合成樹脂カバー
D	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 屋内一般：冷媒管共巻き、グラスウール保温筒+合成樹脂カバー 屋外露出：カラーVP
R	ワイヤードリモコン	
内外連絡線	VVF2.0-3C ※冷媒管共巻き	

記号	液管	ガス管
①	φ6.35	φ12.7
②	φ9.52	φ15.88
③	φ9.52	φ19.05